

# 第24回全道高校新人大会

## 大会展望

2月3日から5日にかけて帯広市にて開催される。参加は男女各32校の計64チーム。メイン会場は帯広市総合体育館。

男子はシード権を有する4校を中心とした戦いになりそう。その中で優勝候補の筆頭となるのは第2シードの札幌日大。ウィンターカップ道予選では1・2年生のみのメンバーで念願の優勝、全国大会を経験したチームがどのような戦い方をするか非常に楽しみである。このブロックでは札幌月寒、函大有斗を中心に札幌日大への挑戦権をかけた争いとなりそう。第1シードの白樺学園は帯広予選を順当に1位で通過、選抜道予選に続き決勝進出を目指す。同ブロックの有力校は釧路北陽、海星学院。第3シードの恵庭南は札幌予選を2位で通過、順当にベスト4に進出すれば札幌日大とのリベンジ戦となる。北海道栄、東海大四が恵庭南にどこまで迫れるかに注目したい。第4シードの旭川工業は激戦の旭川予選を1位で通過、今大会でも存在感を示しそうだ。2回戦での対戦が予想される札幌3位の札幌工業も選抜のリベンジを狙っており、好ゲームが期待される。札幌日大が前評判通りの力を発揮するのか、また波乱はあるのか、熱戦に期待したい。

女子は、札幌1位の第1シード札幌創成、ウィンターカップ連覇の第2シード札幌山の手の2校が優勝争いの中心。札幌予選を制した札幌創成が優勝候補の筆頭か。決勝に進出し、道大会で山の手に勝利することが念願であり、そのチャンスは大いにある。同ブロックでは、海星学院、旭川明成が札幌創成にどこまで迫れるかに注目したい。第2シードの札幌山の手はウィンターカップ後からのチーム作りであり、どのようなバスケットをするかに注目が集まる。第3シード帯広南商業は激戦の帯広予選で1位通過、地元開催の利を生かし準決勝進出を目指したい。しかし、同ブロックには力がある学校が多く激戦は必至。特に札幌4位の札幌東商業にもベスト4に進出する力は十分にある。第4シードとわの森三愛は札幌3位での出場。函館大妻、地元の帯広柏葉にも力があり、混戦になりそう。優勝は「札幌1位の創成」なのか、やはり「3冠そして全国2連覇を成し遂げた山の手」なのか、両者に力の差はない。

平成24年1月20日

北海道バスケットボール協会強化委員会